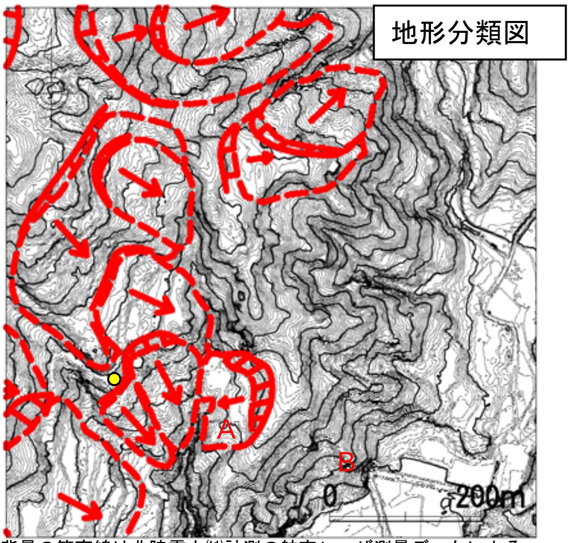
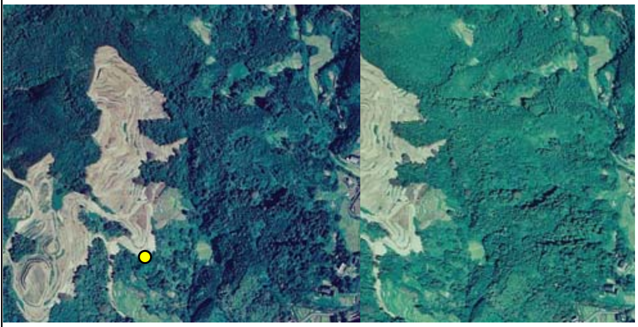
作成日：2009 年 1 月 16 日（改訂日：2009 年 8 月 17 日）

| 総図名 | 七尾 | 1/2.5 万図名 | 門前 |
|---|---|---|---|
| 対象地点の中心 | 北緯 37° 17′ 58″ | 東経 136° 49′ 0″ | Area A(1) |




背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。

空中写真



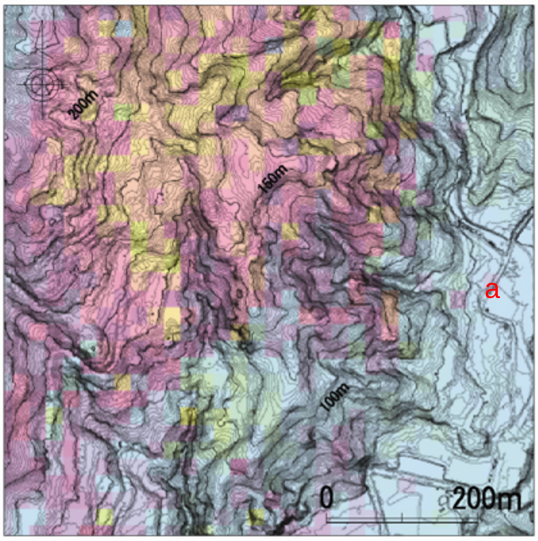
● 地形分類図と空中写真との同一地点

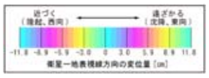
ＳＡＲ干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5° ；基線長 Bperp：+432 m

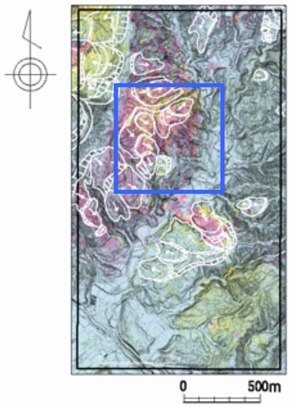
撮影年月日：2007 年 2 月 23 日～2007 年 4 月 10 日

解像度：ＦＢＳ／ＦＢＤ（2007 年 2 月 23 日）／ＦＢＳ／ＦＢＤ（2007 年 4 月 10 日）

衛星の視線方向：西側上空から東向き／東側上空から西向き








背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。

Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

斜面（地すべり移動体）

① 干渉縞：明瞭

② 視線方向の色変化：（対象地点より東の広く無変化が広がる青色部分 a を基準に東から西に向かって）青→赤→黄色

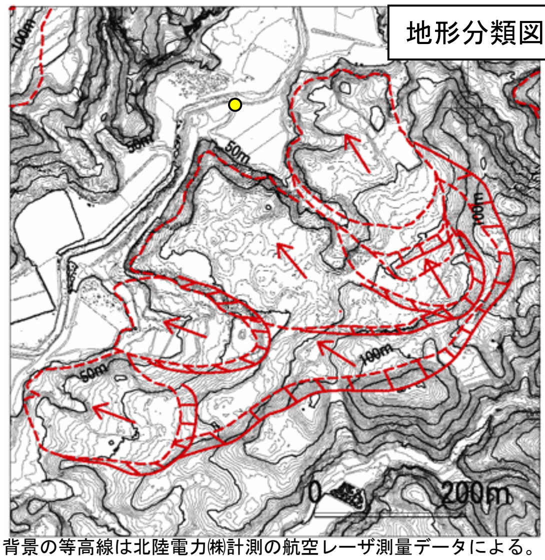
③ 移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降

南東ないし東向きの急斜面であり，稜線付近（標高 200m 付近）に明瞭な滑落崖を有する地すべりが分布。河川の下刻と共に地すべりは斜面下方に発達し，稜線から斜面中腹が複数の地すべり移動体からなる。地形分類図で「A」といれた地すべり移動体は同様に青→黄で西向き成分の変位を示す。干渉縞は地すべりの分布と良く調和しており，地すべり移動体の微小な動きを検出したものと考える。しかし，地形分類図で「B」と入れた尾根上の急斜面には同様に青→赤の色変化が見られ，このような急斜面では色変化が実際の変位を示していない可能性がある。

作成日：2009 年 1 月 16 日（改訂日：2009 年 8 月 17 日）

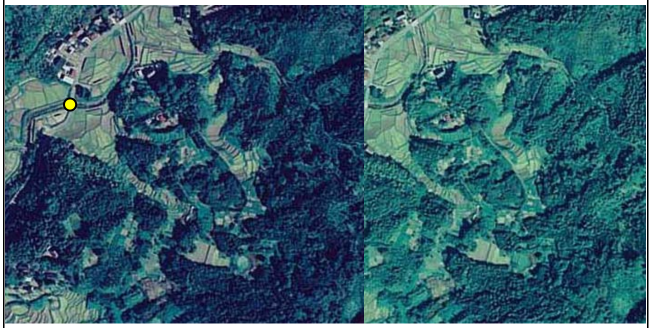
| 総図名 | 七尾 | 1/2.5 万図名 | 門前 |
|---|---|---|---|
| 対象地点の中心 | 北緯 37°17′36″ | 東経 136°49′12″ | Area A(2) |

地形分類図




背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。

空中写真



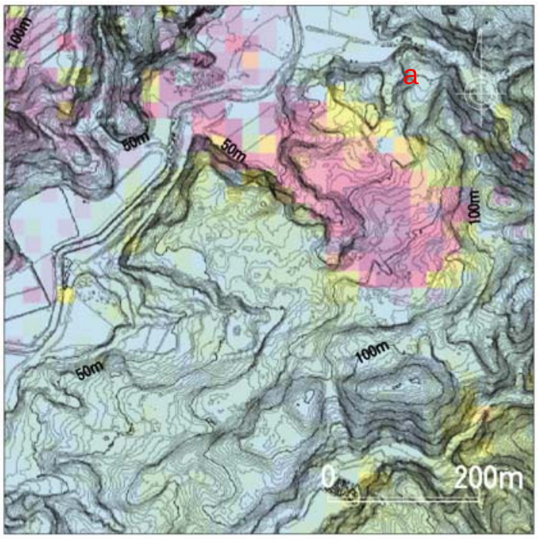
● 地形分類図と空中写真との同一地点

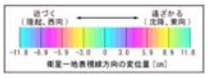
ＳＡＲ干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5° ；基線長 Bperp：+432 m

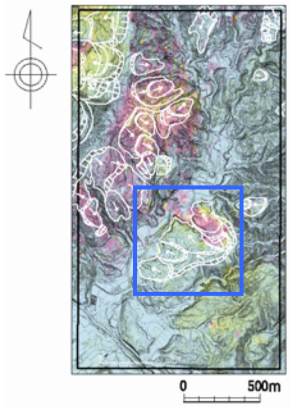
撮影年月日：2007 年 2 月 23 日～2007 年 4 月 10 日

解像度：ＦＢＳ／ＦＢＤ（2007 年 2 月 23 日）／ＦＢＳ／ＦＢＤ（2007 年 4 月 10 日）

衛星の視線方向：西側上空から東向き／東側上空から西向き








背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。

Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

斜面（地すべり移動体）

① 干渉縞：明瞭

② 視線方向の色変化：（馬蹄形変動外部の無変化の青色部分ａを基準に東から西に向かって）

青→黄→赤色

③ 移動方向：西へ近づくないしは隆起

北西向きの緩傾斜面であり，稜線付近に滑落崖を有する大規模地すべり内に位置する。この地すべりは複数の移動体に分割され，干渉縞はその最北部の移動体で検出された。この移動体内には滑落崖・開口地形が複数分布しており，河川の下刻と共に斜面下方に新たな移動体が形成され，成長している箇所である。干渉縞は，最も活動的な移動体内の微少な動きを検出したものと考える。